

学校いきいきアンケート分析報告

①項目分析

項目1 児童生徒は、毎日、友だちや先生と仲良くすごし学校生活を楽しんでいるか。

4)大変そう思う	40	41%	99%	
3)まあそう思う	56	58%		
2)あまりそう思わない	1	1%	1%	
1)まったくそう思わない	0	0%		

肯定率が高いことから、教員側からは学校生活を楽しめるような取り組みをしている様子が見える。

項目2 児童生徒は、学習や課題に意欲を持って取り組んでいるか。

4)大変そう思う	12	13%	95%	
3)まあそう思う	79	82%		
2)あまりそう思わない	5	5%	5%	
1)まったくそう思わない	0	0%		

児童生徒はやる気を持っている。なら、それを受け止めてあげねば。コースグループで評価しにくい面もある」との意見もある。

項目3 児童生徒は、学校行事(体育大会や銀杏祭など)を楽しみにしているか。

4)大変そう思う	40	41%	94%	
3)まあそう思う	51	53%		
2)あまりそう思わない	6	6%	6%	
1)まったくそう思わない	0	0%		

児童生徒が行事で生き生きと活動している姿がこの結果からうかがえる。今後行事の精選を検討していく上で、児童生徒が楽しみにしていることを大切にしようという姿勢は忘れないようにしたい。

項目4 児童生徒は、給食を楽しみにしているか。

4)大変そう思う	58	60%	96%	
3)まあそう思う	35	36%		
2)あまりそう思わない	3	3%	4%	
1)まったくそう思わない	1	1%		

肯定率96%高く、給食を楽しみにしていることを実感している。

項目5 学校長は、自らの教育理念や学校経営についての考え方を明らかにしているか。

4)大変そう思う	10	10%	82%	
3)まあそう思う	70	72%		
2)あまりそう思わない	17	18%	18%	
1)まったくそう思わない	0	0%		

年度初めや職員会議などで発信はされている。今年度の挨拶なども、学校のホームページに掲載されている。

項目6 学校長は学校経営にリーダーシップを発揮しているか。

4)大変そう思う	7	7%	77%	
3)まあそう思う	67	70%		
2)あまりそう思わない	22	23%	23%	
1)まったくそう思わない	0	0%		

学校長が努力されていることは、多くの教員が認めているのではないかと。しかし、その効果が上まっているかどうかという点で評価が分かれているように思われる。

項目7 学校運営に教職員の意見が反映されているか。

4)大変そう思う	1	1%	55%	
3)まあそう思う	50	54%		
2)あまりそう思わない	41	44%	45%	
1)まったくそう思わない	1	1%		

教員数も多く、一人ひとりの教職員の意見は反映されにくくなっている。肯定率55%と低くなっているのではないかと。逆に意見をたくさん持っているとの見方もできる。

※項目8 各分掌や各部・学年間の連携がうまく行われ有機的に機能しているか。

4)大変そう思う	2	2%	48%	
3)まあそう思う	44	46%		
2)あまりそう思わない	43	45%	52%	
1)まったくそう思わない	6	6%		

肯定率が低い。さらに「大変そう思う」が2%とかなりの低評価。児童生徒のため各部間での情報交換や情報提供を密にし、生かしていけるかが今後の課題。自由記述にも意見がでている。

項目9 本校は「開かれた学校づくり」に努力しているか。

4)大変そう思う	5	5%	79%	
3)まあそう思う	71	74%		
2)あまりそう思わない	19	20%	21%	
1)まったくそう思わない	1	1%		

大変そう思うが5%と少ないのはさびしいが、多くの教員が学校としての努力を評価しており、今後もその努力を継続していくべき課題だと思われる。

項目10 本校のHP(ホームページ)やブログは役に立っているか。

4)大変そう思う	2	2%	53%	
3)まあそう思う	47	51%		
2)あまりそう思わない	37	40%	47%	
1)まったくそう思わない	7	8%		

ここ1・2年で内容は充実してきているが、教員の中では見ていないとの意見もあり、このような結果になっているのではないかと。保護者や学校関係者の意見など聞きたいところだ。

項目11 子どもが安全に学校生活を送るための安全上の対策や配慮は、十分か。

4)大変そう思う	3	3%	63%	
3)まあそう思う	58	60%		
2)あまりそう思わない	33	34%	37%	
1)まったくそう思わない	3	3%		

基本となる「安全」が低評価。100%を目指し学校全体で考えていくべきである。自由記述にも教員の配慮だけでは解決できない、いなくなってしまう教員もいて安全などの引き継ぎに不安を感じている。

項目12 安全に関する指導や訓練は充実しているか。

4)大変そう思う	7	7%	75%	
3)まあそう思う	65	68%		
2)あまりそう思わない	23	24%	25%	
1)まったくそう思わない	1	1%		

緊急時の対応・防災・火災の避難訓練・心肺蘇生法の講習など、健康安全部の活動が評価された結果の数字であると判断できるのではないかと。

項目13 教室やトイレなどの衛生管理に努めているか。

4)大変そう思う	8	8%	76%	
3)まあそう思う	66	68%		
2)あまりそう思わない	18	19%	24%	
1)まったくそう思わない	5	5%		

施設設備面での環境整備は行われていないと感じる方が多く中で、衛生管理は1人ひとりの教員が気をつけていることが伺える。

※項目14 本校の施設・設備について十分な環境整備が行われているか。

4)大変そう思う	1	1%	19%	
3)まあそう思う	17	18%		
2)あまりそう思わない	57	59%	81%	
1)まったくそう思わない	22	23%		

一番厳しい評価になっている。箱や予算の関係もあるが、各学部の全面改修では、教室なども使いやすいように改修できると有効的になると感じる。自由記述にもエレベーターの耐久期限が切れるなど、他にも意見多い。

項目15 家庭とは「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」について共通理解がとれているか。

4)大変そう思う	13	13%	87%	
3)まあそう思う	71	73%		
2)あまりそう思わない	12	12%	13%	
1)まったくそう思わない	1	1%		

家庭訪問、個人懇談での「教育支援計画」の作成・利用がすすみ、教員としては保護者の理解が得られていると感じているようである。ただし、保護者にどの程度認知してもらえているかが問題で、今後その努力が必要である。

項目16 「個別の指導計画」にもとづいたわかりやすい授業を行っているか。

4)大変そう思う	4	4%	80%	
3)まあそう思う	73	76%		
2)あまりそう思わない	18	19%	20%	
1)まったくそう思わない	1	1%		

個別の指導計画を作成することになっているが、有機的に使用されていない現状もあるのではないかと。しかし、多くの教員が、分かりやすい授業を心がけていることが分かる。

項目17 「個別の指導計画」には目標・学習課程や評価を適切に表記しているか。

4)大変そう思う	11	11%	88%	
3)まあそう思う	73	76%		
2)あまりそう思わない	11	11%	13%	
1)まったくそう思わない	1	1%		

肯定率88%で概ね表記できているとの評価もできるが、来年度は「大変そう思う」がもう少し高くなっていくことに期待したい。

項目18 教育課程や指導計画について、教職員の話し合いが十分行われているか。

4)大変そう思う	14	14%	68%	
3)まあそう思う	52	54%		
2)あまりそう思わない	28	29%	32%	
1)まったくそう思わない	3	3%		

マイナス評価32%というのが気になる数字である。チームティーチングを行っている上で、教員同士の入念な話し合いは必要不可欠なものであるが、そのための時間が十分に保障されているとは言えない現状があると思われる。

項目19 「個別の教育支援計画」は、子どもの支援のために活用されているか。

4)大変そう思う	7	7%	46%	
3)まあそう思う	37	39%		
2)あまりそう思わない	47	49%	54%	
1)まったくそう思わない	5	5%		

今年度からスタートした教育支援計画が、しっかり活用できていないと感じている方が多い。子どもの支援のためにどのように活用していくか今後の課題である。

※項目20 入学前の学校や施設、学部からの引き継ぎが円滑に行われているか。

4)大変そう思う	8	8%	63%	
3)まあそう思う	52	55%		
2)あまりそう思わない	34	36%	37%	
1)まったくそう思わない	1	1%		

引き継ぎ関係は低評価が多い。引き継ぎ時のみになりがちで、すべて伝えることは難しい。自由記述に一般校からの入学生の場合、個人情報保護を理由に十分な資料がない場合があるとの意見。

項目21 学校・学部行事のねらい・目標は達成されているか。

4)大変そう思う	8	8%	91%	
3)まあそう思う	78	82%		
2)あまりそう思わない	9	9%	9%	
1)まったくそう思わない	0	0%		

本校の教員は児童生徒の笑顔を引き出すことを目標に、行事の成功に向けて惜しみない努力を払っていると評価できるのではないかと。

※項目22 学校・学部行事について、工夫・改善・精選を行っているか。

4)大変そう思う	7	7%	63%	
3)まあそう思う	54	56%		
2)あまりそう思わない	32	33%	37%	
1)まったくそう思わない	4	4%		

行事の精選は近年の課題となっているところ。行事の工夫・改善・精選は本年度係も発足し、努力されている。各学部では工夫をして改善をさせつつあるのでは。

項目23 学校・学部行事は授業と関連付けられて行われているか。

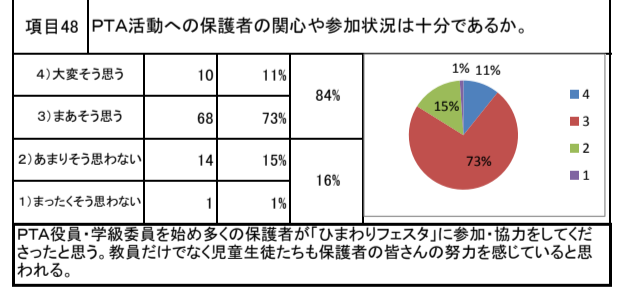
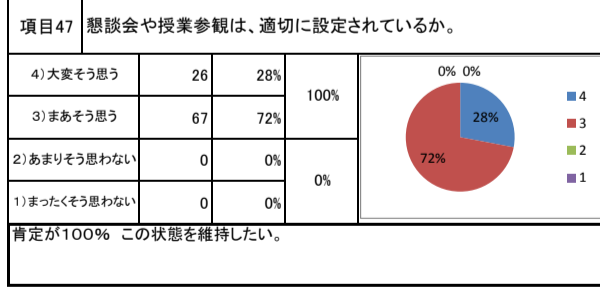
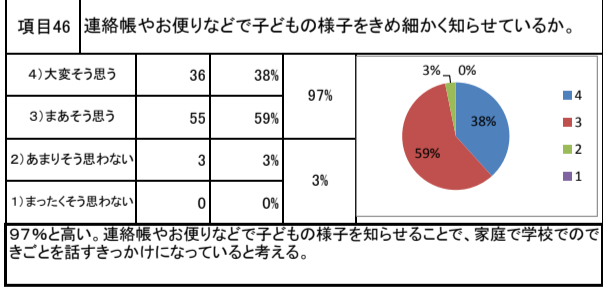
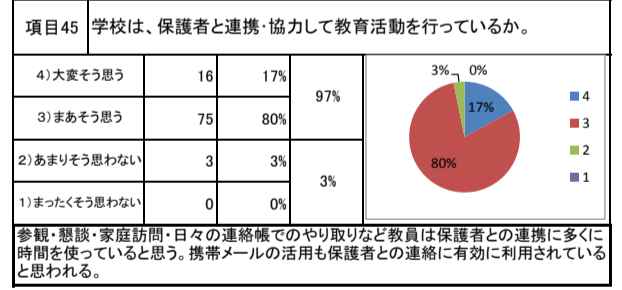
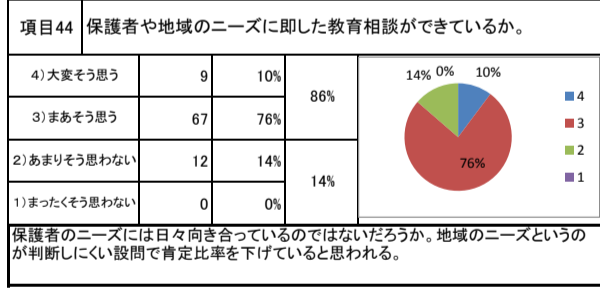
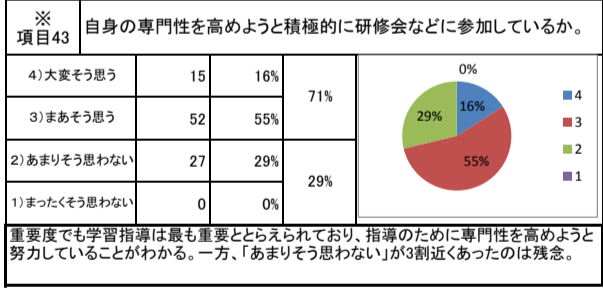
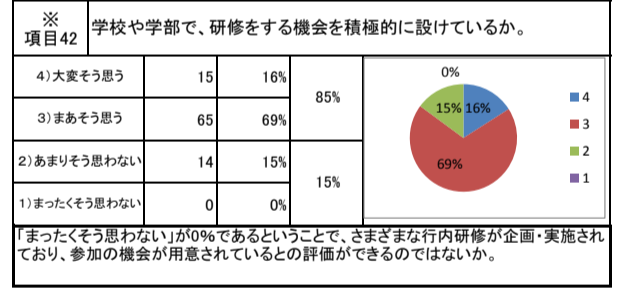
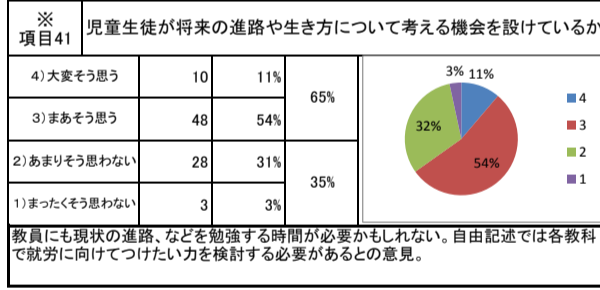
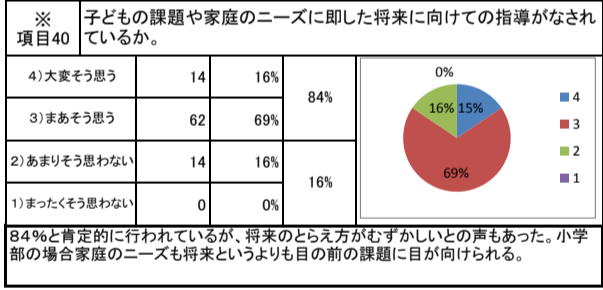
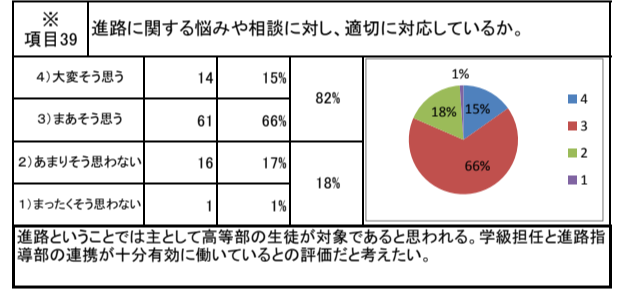
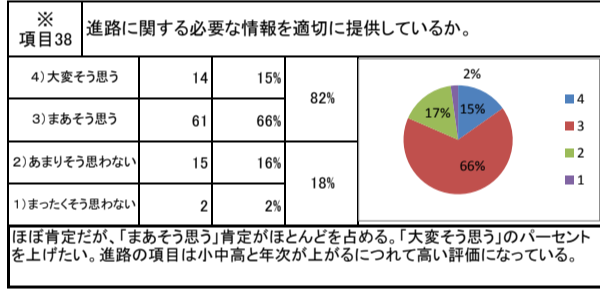
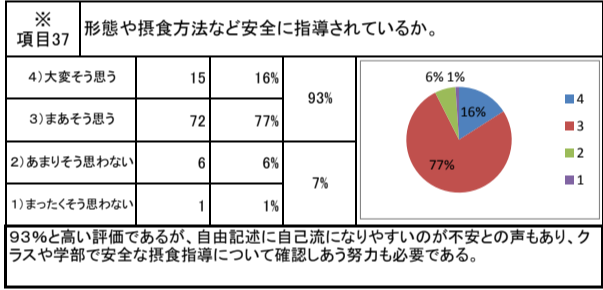
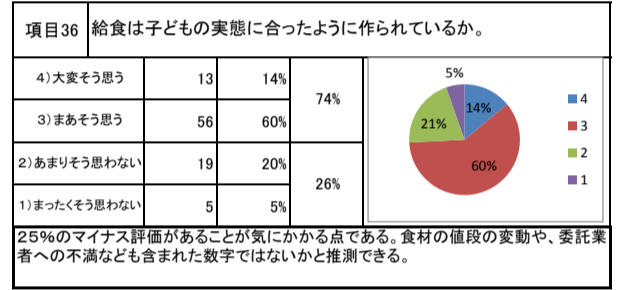
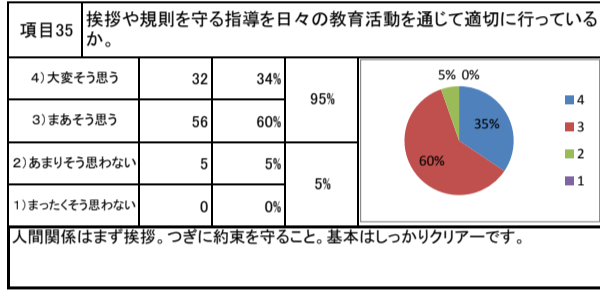
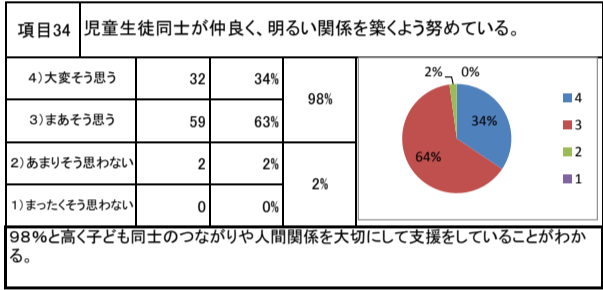
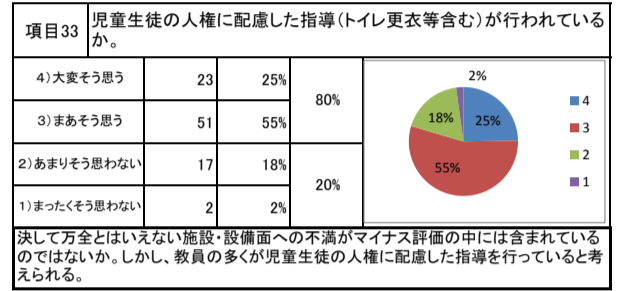
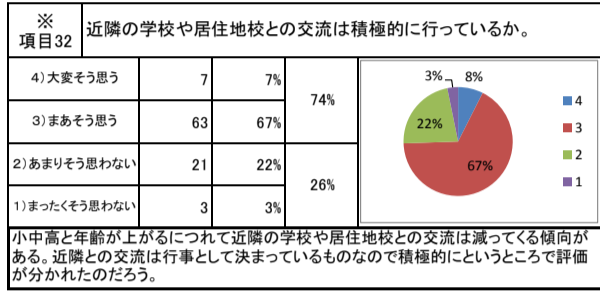
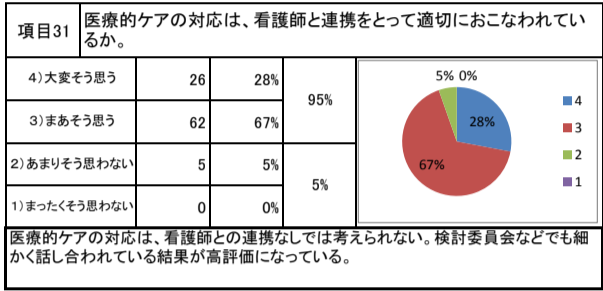
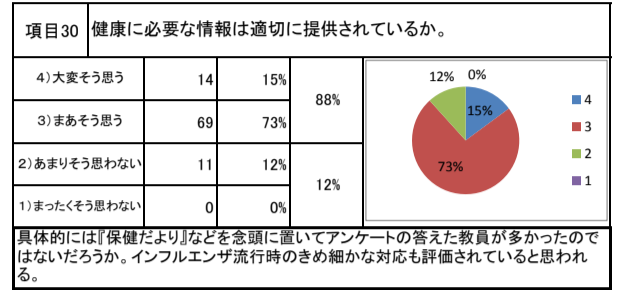
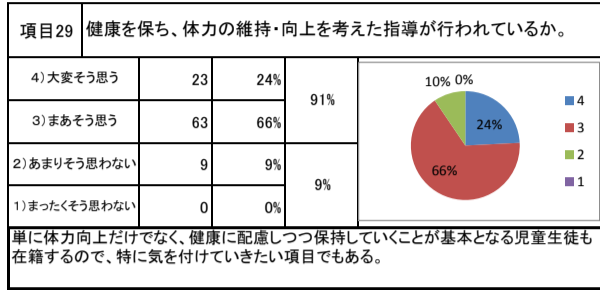
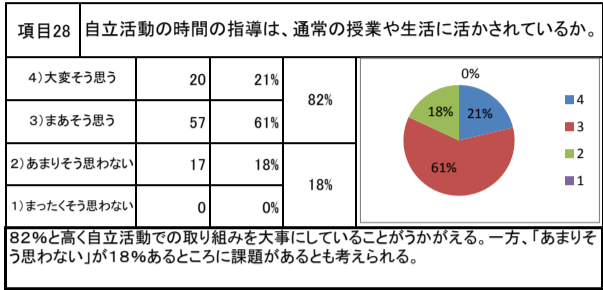
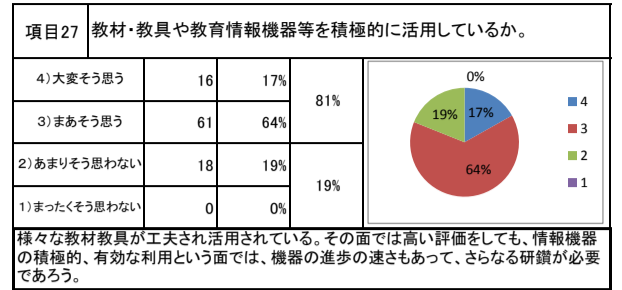
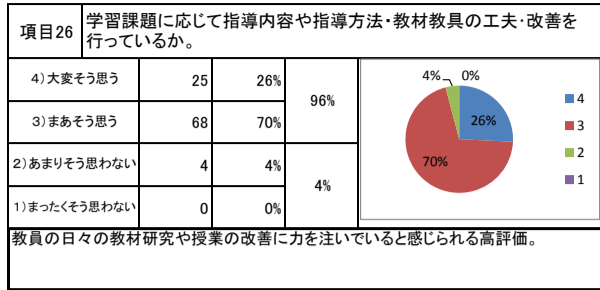
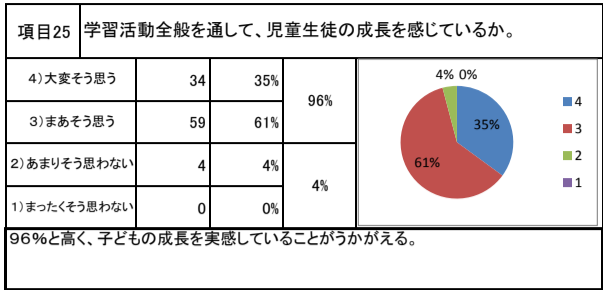
4)大変そう思う	16	17%	83%	
3)まあそう思う	63	66%		
2)あまりそう思わない	16	17%	17%	
1)まったくそう思わない	0	0%		

授業と関連づけることにより、興味や関心をたかめているとの見方ができる。一方、2学期は行事が多く本来の授業ができにくい現状もある。

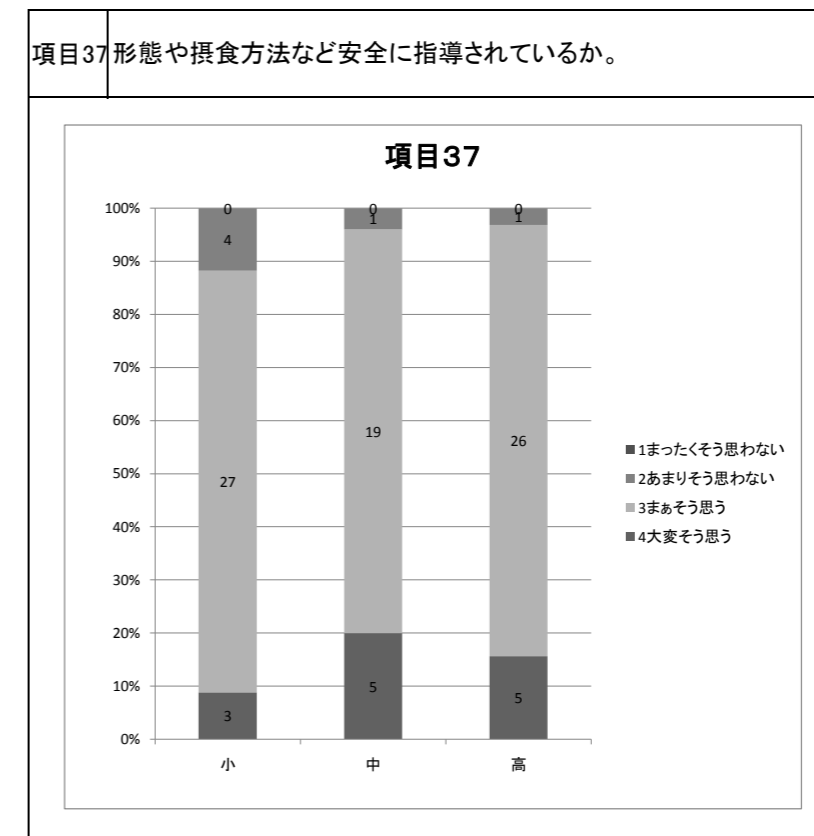
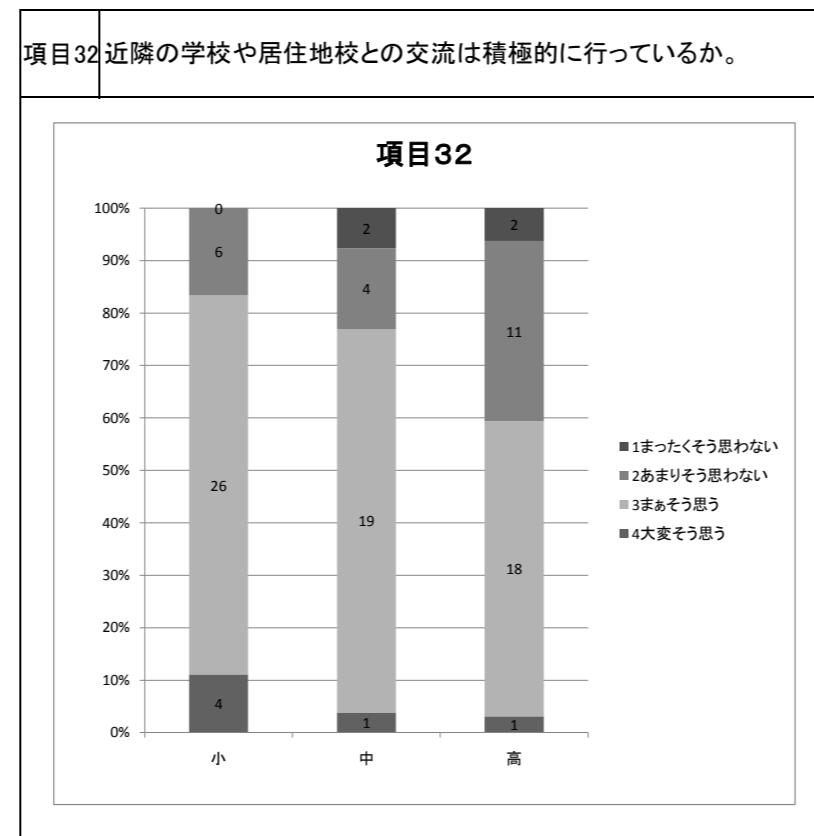
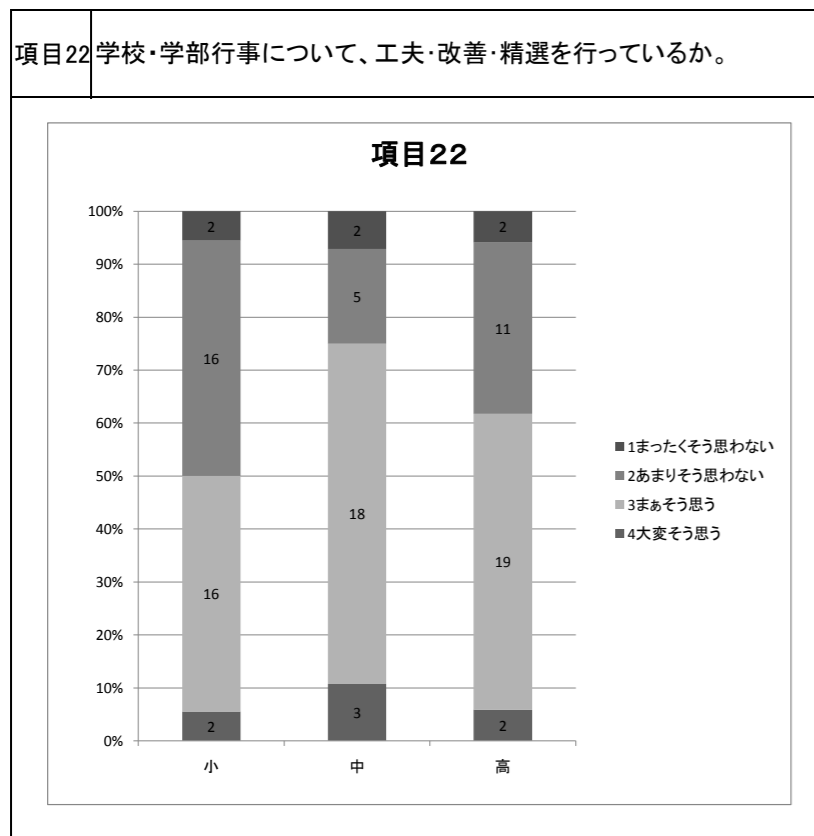
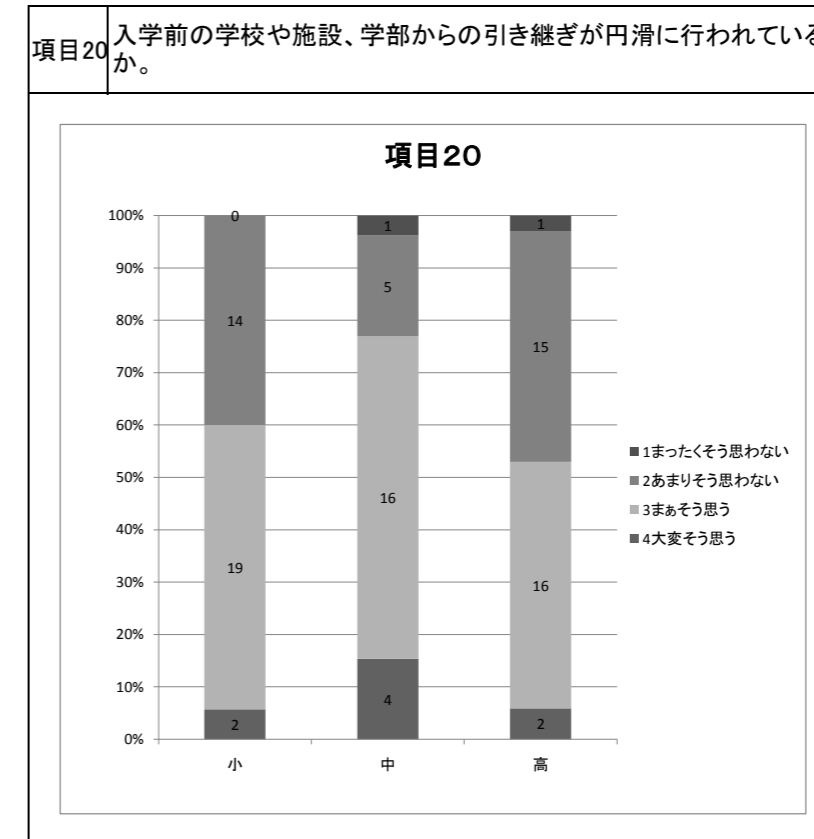
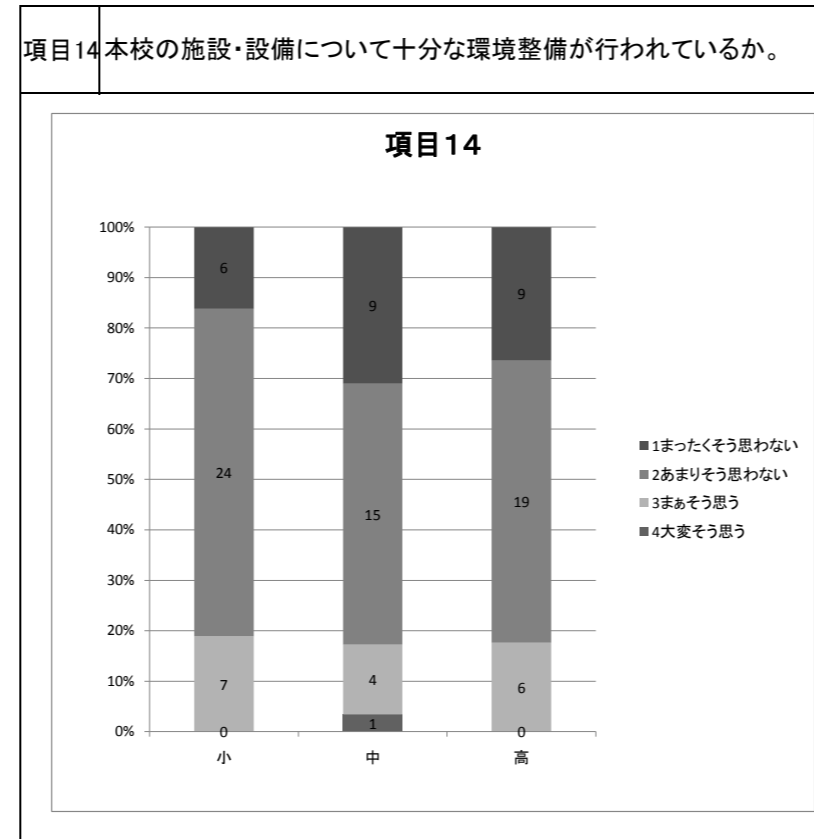
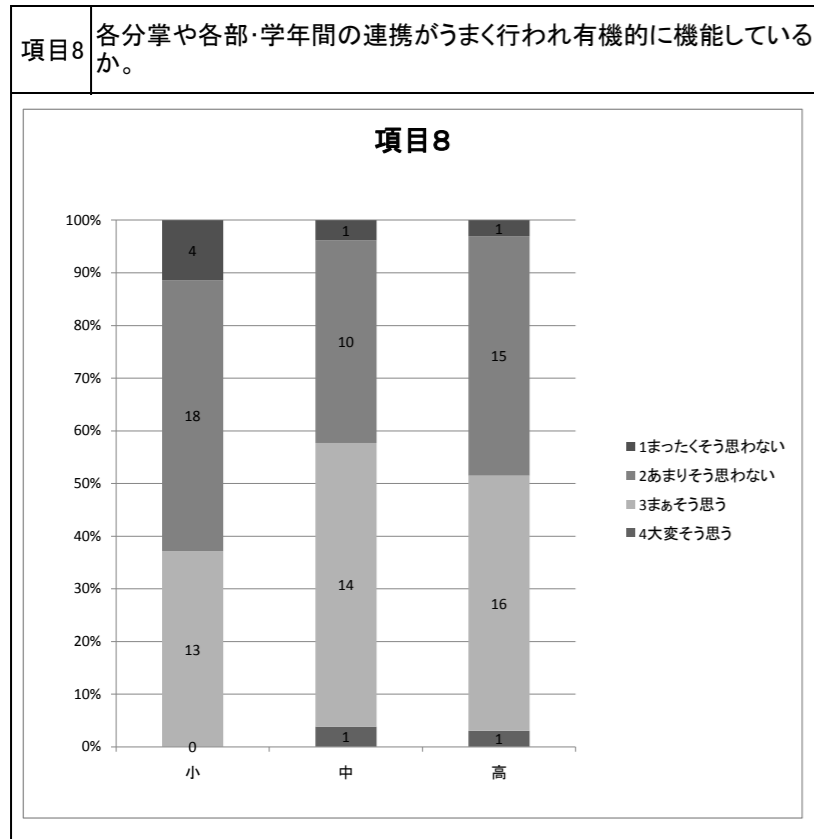
項目24 教育内容は児童生徒のニーズに応じたものになっているか。

4)大変そう思う	12	13%	88%	
3)まあそう思う	71	76%		
2)あまりそう思わない	11	12%	12%	
1)まったくそう思わない	0	0%		

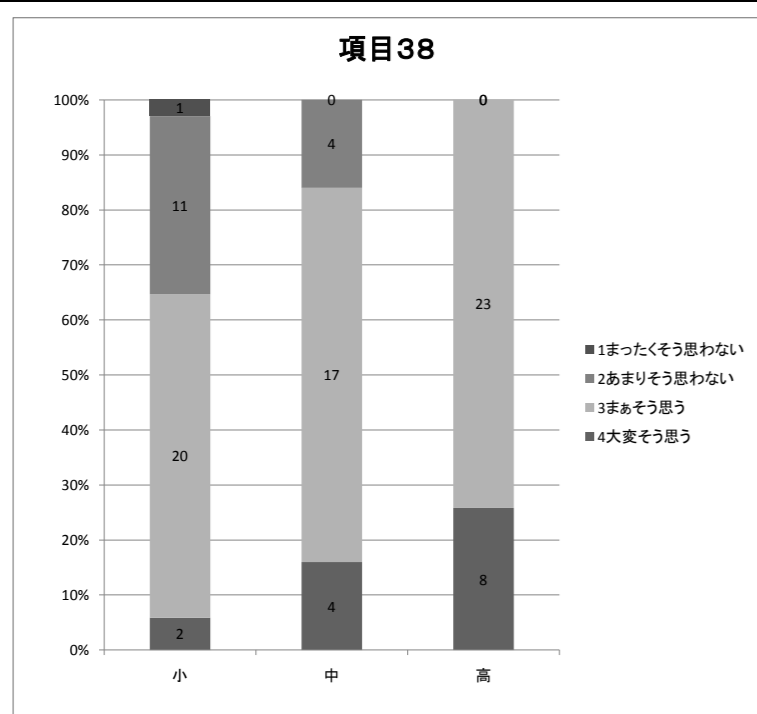
支援学校にとっては当然のことであるが、保護者・児童生徒のニーズをよく聞き取り、それに沿った教育活動を目指しているわけで、教員の自己評価が高くなるのは当然のことであろう。



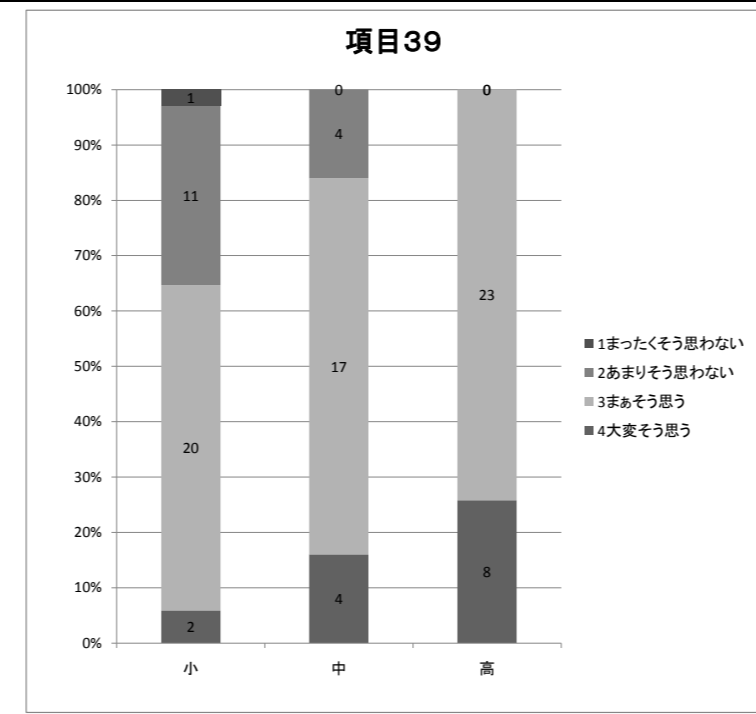
## ②学部比較項目(参考)



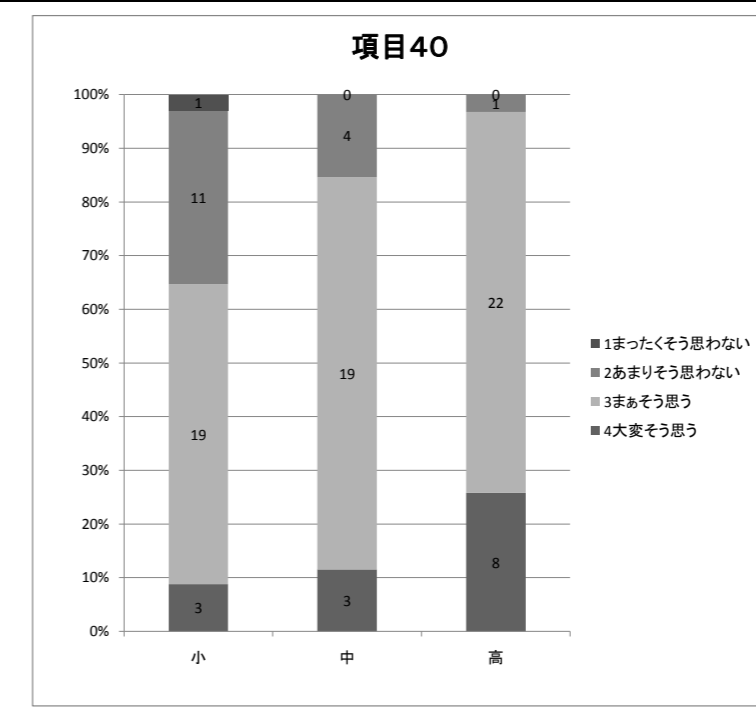
項目38 進路に関する必要な情報を適切に提供しているか。



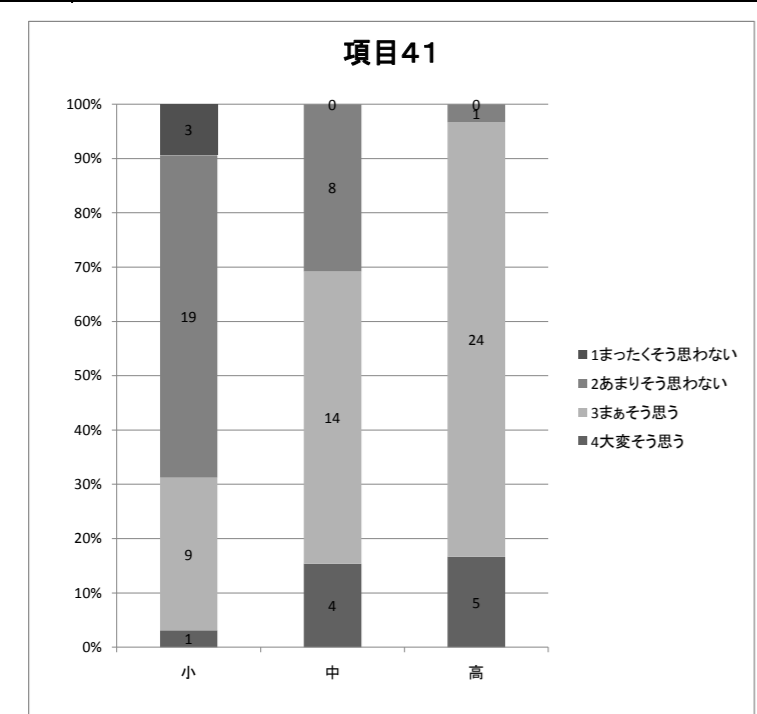
項目39 進路に関する悩みや相談に対し、適切に対応しているか。



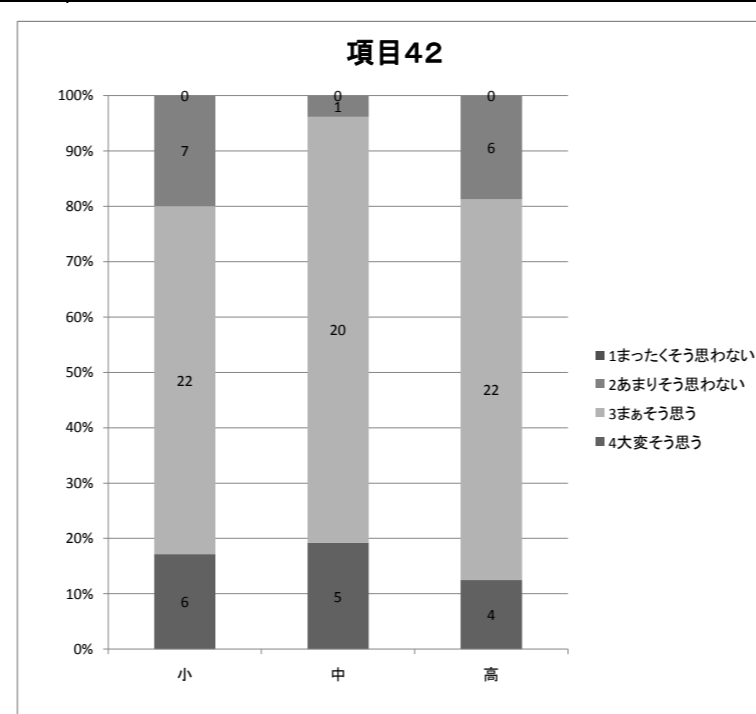
項目40 子どもの課題や家庭のニーズに即した将来に向けての指導がなされているか。



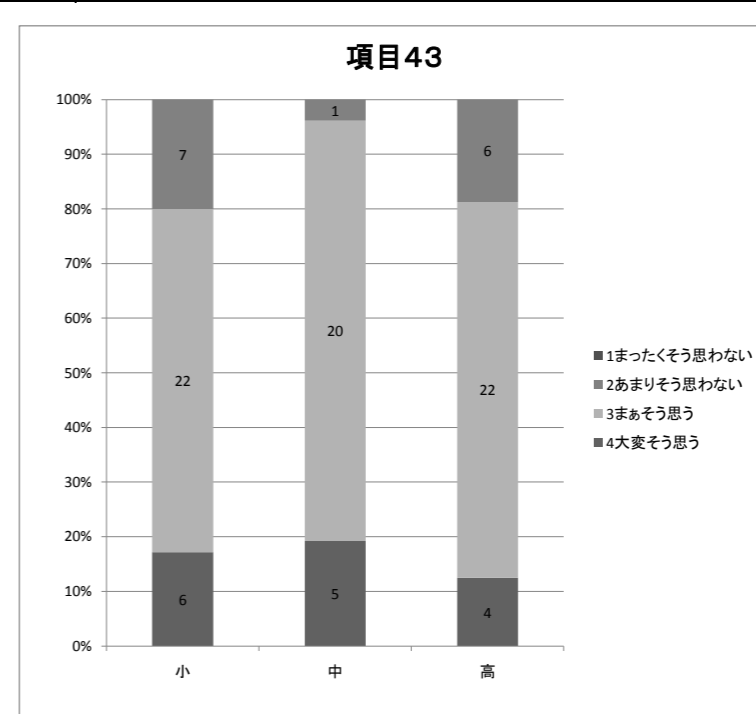
項目41 児童生徒が将来の進路や生き方について考える機会を設けているか。



項目42 学校や学部で、研修をする機会を積極的に設けているか。

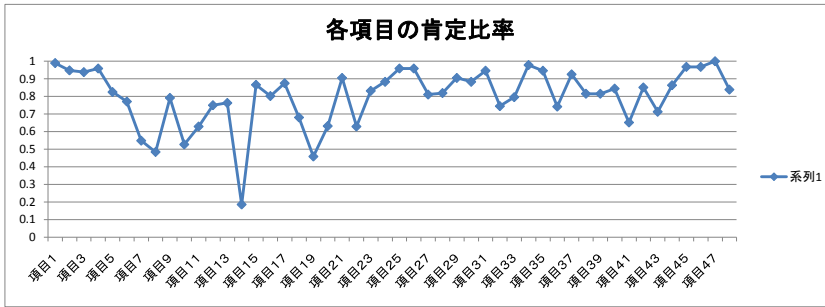


項目43 自身の専門性を高めようと積極的に研修会などに参加しているか。



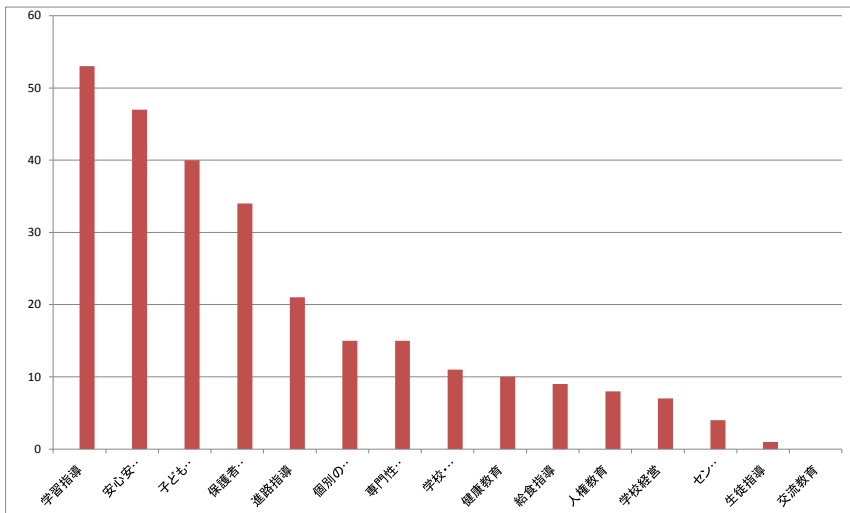
### ③総合的な分析

(各項目グラフより)



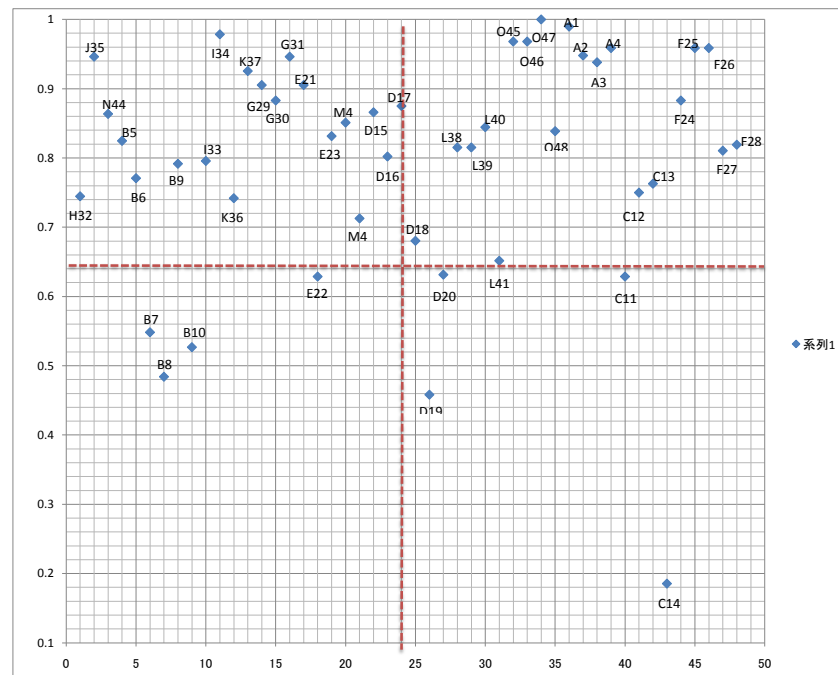
全体的には肯定比率の割合は高く、比率の平均値は80%となっている。日々の教育に対する意識が高いと感じられる一方、施設設備面の整備に対する点では昨年に引き続き最低の数値が出ている。  
また、「個別の教育支援計画」の活用は、今年ようやく全校の統一様式となったところでこれからの活用が期待されることである。「学校経営」の各分掌等の連携なども50%を下まわっており、組織としてのありかたに課題が残る結果と思われる。

(領域重要度グラフより)



領域の設定にもばらつきがあり、ある領域には設問項目が6つであるのに対し、ある項目は1つというのもあり、設定の仕方にも結果が反映されているように感じる。  
重要度が高い領域は、日々の児童生徒に直接かかわるものとなっている。また、学部によってやコースによって重要度が変化するような領域は、低い数値になっているようだ。よって、数値が低いものでもコースや学年によっては重要という領域もあるようだ。(気になるところは学部比較も行った。)

(項目と領域を掛け合わせたグラフ)



重要度も高く達成度も高いもの(グラフの右上《学校の強み》)としては、「F学習指導」や「A子どもの様子」、「O保護者連携」の領域であり、日々の授業や学校生活は、とても充実しているとの見解がみられる。日々、教員が尽力しているところであるとも考えられる。  
重要度は高いが達成度が分散している(グラフの右下《学校の課題》)のが「C安心安全の学校づくり」であり、特に施設設備の面が低く、施設が古くなっているところは受け入れざるを得ないが、全面改修が行われているにも関わらず数値が上がらないのは改修にも満足できていないところがあると思われる。また、安全上の対策や配慮という部分とともに対策を立てていくべき課題があると思われる。

重要度達成度ともに中間ぐらいに位置しているのは「D個別の指導計画・個別の教育支援計画」であり、個別の教育支援計画に関しては統一様式になったばかりなので充分評価するところに至っていないとの見方もできる。組織的に活用することによって引き継ぎなどがよりスムーズになっていく可能性が大いに期待できることである。  
「B学校経営」に関しては、重要度達成度ともに高くないが、肯定率60%以下に3項目入っており、教員の意見が反映できるような組織のあり方や分掌・会議のあり方など改善検討していく必要はあるようだ。

#### 【総合的な考察】

今回の「学校いきいきアンケート」は、教員のみアンケートとして、回収率をあげて自己評価をしようとした。結果的に回収率は10%近く上昇したが、学校に対する意識にばらつきがあるようだ。教員のみということで、日々の授業や児童生徒に対する指導面では、高い評価となっているが、学校に対する面には、シビアに評価されている部分があるように感じる。今年の自己評価を踏まえて、茨木支援学校の強みはそのまま維持できるように努力し、改善できるところは各部署で積極的に進めるための検討をお願いしたい。

改善検討事項は、大きく

#### ①施設設備の環境整備の改善

#### ②児童生徒の引きつぎに関して、個別の支援計画の活用

#### ③学校運営関係で教員の意見反映や分掌等の連携に関して

の3点があげられる。

①は、自由記述にはトイレや更衣室の設備についての意見が多く、他にも具体的に現在どこが不十分で安全性に欠けるところなのか調査をしていく必要がある。

#### (健康安全部・労働安全衛生委員会)

また、25年度の通学区域変更にもついで全校的な体制を考える組織が必要ではないか。(運営委員会)

②は、今年から統一形式になった個別の支援計画の経過や活用方法をさぐる。(一貫教育検討委員会)

③は、学校の組織(特に分掌)の整理や見直しなど検討いただきたい。(運営委員会)

自由記述で多かったのは給食に関する要望であった。このアンケート結果を少しでもより良い学校づくりのために活用していきたい。